

レジャーだけにとどまらず 新しい可能性を持つキャンピングカー これからのツーリズムのスタンダードへ



ナッツのフラッグシップモデル「ボーダー」の室内。使い勝手の良い対面ダイネット、4人座っても見やすいよう計算されたTVなど、細やかな気配りに満ちた空間設計がなされている



ナッツ 代表取締役 **荒木 賢治さん**

化粧品メーカーでトップセールスマンを経験後、自動車販売の業界へ。無店舗販売からスタートし、スポーツカーショップを開業する。顧客のニーズに応えカスタムカーを学びにアメリカへ。そこでキャンピングカーの魅力に引き込まれる。カスタムカー販売をしながら、ヨーロッパでキャンピングカーの全てを習得。

キャンピングカー文化を 日本へ根づかせることが使命

設立前、キャンピングカーを学びにヨーロッパを訪れた荒木氏は、ヨーロッパの人達のキャンピングカーの楽しみ方に衝撃を受けたそう。「自分や家族のために使っている時間に、とてもゆとりを感じました。本当に自由で楽しそうだったんです。当時の日本では、『キャンピングカーは手の届かないもの、金銭的ゆとりのある人だけが楽しめるもの』といった考えがまだありました。でもヨーロッパやアメリカでは生活の一部のようにキャンピングカーを乗りこなし、遊び尽くしていました。クルマ文化になった日本にも、ツーリズム車文化を根づかせたい、そう強く思っています」。

これまでにスポーツカー、カスタムカーなど特種なクルマ製作に没頭してきた荒木氏が、ノウハウとクルマへの熱い想いを詰め込んで設立した、キャンピングカーの『ナッツ』。30年たった今では、日本のキャンピングカーメーカーを牽引するまでに成長した。自社工場を持ち、原材料からアフターフォローまで一貫して行い、生産台数も年間850台と日本ではトップクラスを誇っている。特に製造においては独自の開発で、家庭用エアコンを搭載したり、特許出願中の「超急速充電システム」や冷暖房効率の良い「高断熱コンポジットパネル」を採用。他にもマシンプレスを開発し、これまで10時間かかっていた作業が15分でできるようになった。

ユーザーも次世代キャンピングカーの快適さに触れ、キャンピングカー、引いては『ナッツ』にハマるファンが増えている。

**災害に強いキャンピングカーを
地域貢献に役立てる**

生活環境の変化や災害に見舞われる

ことが多い昨今だが、そんな事態にとっても強いのがキャンピングカーだ。クルマの特性、使い方を誰よりも熟知している荒木氏は、数年前の福岡県での水害直後に朝倉市へキャンピングカーを寄贈した。「有事には現場近くに行き、作戦本部として活躍しました。平時はレンタカーとして楽しんでもらっています」と荒木氏。

**目指すは夏休み1カ月！
社員が積極的に遊べる会社へ**

次々とキャンピングカーの可能性を見出している同社。社員には自分の仕事を好きになつてもらいたいと強く思っているのだそう。「せつかく作っているのだからもつと遊んで好きになつてもらいたい。そのため社員向けの無料キャンピングレンタルカーを保有しています。利用する社員は多いですよ。クルマ旅を盛り上げるために、まずは社員から。ということ、5年以内に夏休みが1カ月間ある会社になります」と革新的な取り組みに向け動いている。同社は学歴やキャリアに関係なく、広くチャンスを与えており、「自分に限界を作らないような気持ちで前向きに考えられる人材を募集している」。

日本最大級のキャンピングカー大会を主催したり、遊び心が満載の同社。生産台数も5年以内に3600台へと上がる計画で、今後の動向に目が離せない。



北九州工場。海外で製造した居室やボディを全て国内で組立て完成させている。高い技術に裏打ちされた生産力がある

キャンピングカー製造・販売業

株式会社ナッツ

住所 福岡県遠賀郡遠賀町尾崎1704-3

TEL: **093-293-8888**

設立 1990年(平成2年)1月

ナッツ キャンピングカー

URL <https://nutsrv.co.jp/>